

クマに注意！！

ツキノワグマ出没警報 発令中

今年は県内のクマの目撃件数が過去最多となっています。本市においても、市内全域で目撃情報が相次ぎ、さらに山都町では複数回の人身被害が発生しています。今年の秋はブナ等の堅果類が不作であり、冬眠前のクマが餌を求めて人里近くまで出没しており、今後も人身被害等のリスクが高い状況が続くことが見込まれます。また、秋は登山やキノコ採り、山や河川敷での作業などクマとの遭遇リスクが高まる時期でもあるため、十分注意してください。

期間 令和7年9月11日～12月15日

ここが危険！



クマとの遭遇 多発ポイント

登山や仕事での
入山



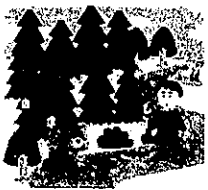
キノコ採り



河川敷



林縁部や藪付近



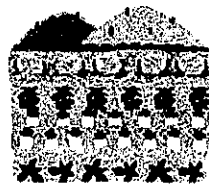
納屋・畜舎



果樹周辺



農作業・草刈り



朝夕の散歩



クマに出会わないためにできること

1 目撃情報を調べましょう

クマがどこにいるのかが知ることが大切です。
市ホームページ「獣マップ」や県警のポリスメールを活用しましょう。

2 クマ鈴やラジオなど音のするものを身につけて行動しましょう

クマの生息している場所では、クマ鈴、ラジオなど音のするものを身につけ、クマに自分の存在を知らせましょう。藪や河川敷に入る際は、事前に花火を打つなど追い払いを行いましょう。

クマの目撃マップは
こちら↓



市ホームページ

3 朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は、複数人での行動、クマ鈴等の携帯を徹底しましょう

朝夕はクマが最も活発に行動する時間帯です。朝夕の入山や農作業には十分注意しましょう。

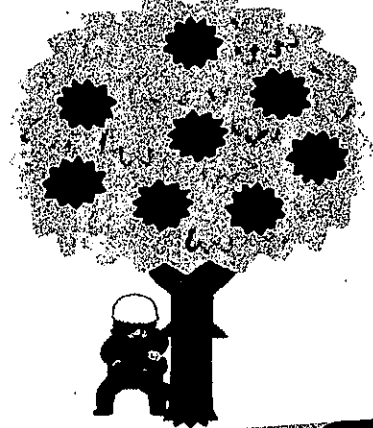
4 屋外に生ゴミ・野菜・未収穫の果物・ペットフードを置かないようにしましょう

クマは餌に対する執着が非常に強いです。一度人間の食べ物や生ゴミの味を覚えてしまうと、頻繁に人里へ出没してしまうため、クマの食べ物になるものを置かないようにしましょう。また、畜舎や小屋に侵入し、餌を食べることもあるため、侵入されないよう対策しましょう。

誘引物の除去を徹底しましょう

集落内に実ったままの柿や栗などがある場合、クマを呼び寄せる誘引物になってしまう危険性があります。クマが味を覚える前に実を落として処分する、または伐採してしまうなどの対策が有効です。

市では未利用果樹の伐採に対して補助を行っておりますので、ご検討ください。



市ホームページ
未利用果樹等伐採事業

地域の皆さんで力を合わせ、クマ等が近づきにくい環境をつくっていくことが重要です。藪の刈り払いなどを行い、クマ等の隠れ場所をなくしましょう。



集落内の環境を整えて出没しにくい環境整備に努めましょう

それでもクマに遭遇してしまったら…



クマを刺激せずに、静かにゆっくりと後ずさりしながら離れましょう。

万が一、クマが向かってきたら両腕で顔や頭をガードして、急所を守りましょう。



しつこいようですが…
音の出るもの、複数人での行動を心掛けてください。
藪等の見通しの悪いところには「クマがいる」との危機意識を持った行動をお願いします。



クマ注意

出没警報発令中!

